（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユーmirai			
○保護者評価実施期間	2025年2月12日		～	2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	39	（回答者数）	25
○従業者評価実施期間	2025年2月12日		～	2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援プログラム	児童一人一人に合わせて学習計画を立て、実施している点。	保護者様の意見、要望を定期定期に聞き取り学習支援への満足度を上げる。学習支援を中心に、幅のある支援を心がけていく。
2	子どもと保護者のニーズを踏まえ、支援プログラムを作成している。	保護者面談を定期的に実施しており、要望や相談を受ける機会を設けている。	コミュニケーションツール（Zoom、LINE電話等）を活用し、面談機会を増やす。
3	中高生をメインとしているので、遅めの利用時間に対応している。	中高生のニーズに合わせたプログラムを展開している。 学習支援、就労準備、パソコン指導等。	平日、利用しにくい利用者様に向けて、日曜にもプログラムを展開していくことを検討。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等の取り組みについて、周知・説明ができていない。	周知する手段が限られており、伝達が難しい。	各種ツールの活用。 保護者様と対面で合う機会を作り説明。
2	来所時の様子はWEB上から閲覧可能であるが、見る頻度が少ないご家庭もあり活動状況が伝わりにくい。	WEB上からのコメントだけでは、伝えられる様子は限られている。	授業参観のようなものを実施すると、具体的に伝わりやすい。
3	子どもが楽しめるイベントが少ない。	中高生の学習支援がメインとなっており、イベントに対しての意識が低かった。	みんなが楽しめるイベントの開催や、保護者様が参加できるイベントも計画してみる。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユーmirai

公表日　2025年3月11日

利用児童数　39名　　回収数　25名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3		5		基本的には曜日ごとに同じ人員配置で対応している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23			2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2		2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	20	3		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	4		1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	3		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	3		3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	3		5		学習支援を中心にしているため、若干、固定化されている。新たな活動を検討していきたい。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6	3	6		キッチンカーを招いたり、子ども食堂を開催した。頻度を増やしてさらに周知してもらえるようにしたい。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23		2			伝わっていないところもあったようなので、説明後に丁寧に質疑応答をする。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4		5		ご家族向けの研修会の頻度について検討したい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	6	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	5				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	4				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	4		4		ご家族参加のイベントを年数回実施。開催頻度の検討と周知を促したい。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4		3		その都度、相談に応じているが、分かりやすいように窓口の設置を検討したい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	3		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	2		6		インスタ等、行っているが周知されていない。再度、案内をしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2		6		必要な対応は行っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	3		6		マニュアルはあるが、保護者様への周知が十分ではない。配布できるようにする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	6		9		訓練を実施しているが、周知していただけるように案内をしていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	15	3		7		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	4		6		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23			2		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	4		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	4				

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ウィズ・ユーmirai

公表日　2025年3月11日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			当日の来所児童様に合わせて、利用場所を調整している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		申し込みの段階で調整している。	急な職員の欠勤等に対応できるように、余剰人員も必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		それぞれのスペースの目的は児童様に理解をしてもらっている。スロープの設置。	死角になるスペースがあるので、職員の監視の目が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除、消毒等の徹底	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		特に設けていないので、必要に応じて作ることを検討する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			頻度について考える。また、非常勤職員とも情報を共有する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			評価表の結果について検討しているが、対策にの取り組みについては弱い部分もある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼時に実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は実施していないが、今後、検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間スケジュールにそった研修と、朝礼時にも毎日、研修を実施している。	実施して終わりではなく、組織への定着や浸透が必要である。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			公表しているがさらに改良を加えて、よりよいプログラムにしていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		支援計画会議を開き、意見を聞いている。	非常勤職員の会議への参加の機会を持ちたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画会議を開き、意見を聞いている。	常勤職員だけに限定されているところがある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		連絡ツール（HUG）で共有している。	定期的に計画等に目を通すようにする仕組みが必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		連絡ツール（HUG）で共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			移行支援、地域支援・地域連携については、今後、力を入れていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		非常勤職員からも情報を聞き取り、常勤職員が中心に行っている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		年度ごとにマイナーチェンジしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			個別活動がメインになっているので、集団の要素を増やしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼を実施している。	非常勤職員への連絡については、連絡ツールの活用となっている。口頭でも伝えられるようにしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。		○		終業時刻がバラバラなので、当日の共有はできていない。連絡ツールを活用している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			記録を日々、活用することを意識していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		組み合わせて支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		当日の内容については、児童様と相談しながら進めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		施設管理者、または児発管が参加している。	開催の頻度が少ないので、こちらからの呼びかけもしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携をとるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			中学、高校と情報共有する機会は少ない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		中高生がメインに施設なので、該当の事業所と連携する機会はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		就労先等に求められた際は、情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		発達部会等で研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		こども食堂やキッチンカーなど地域との交流の機会を作っている。	開催頻度を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			グループの代表者が参加しているが、今後は施設からも参加できるようにしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ツールを使っている。必要あれば電話連絡も行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会等、定期的に実施して情報提供を行っている。	保護者会の開催の頻度を検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			見直す機会を定期的に持ちたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に保護者面談を実施している。日頃から気軽に相談に応じやすい雰囲気を作るように心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や交流イベントを開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応している。また、未然に問題が発生しないように心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		お便りやSNS発信の頻度を増やしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意している。	写真の配布方法について検討している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		キッチンカーを招いたり、子ども食堂を開催している。	地域に向けたイベントを今後、さらに増やしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年に２回の避難訓練実施(地震、火災)	周知方法については検討したい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に２回の避難訓練実施(地震、火災)	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントをとり確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントをとり確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練等、災害に備えた訓練を実施している。	常日頃から安全管理の意識を保てるようにする。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			家族等への周知は弱い。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記入と朝礼終礼での共有	未然に事故を防ぐためにも危機管理の感度を上げていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のための対策検討委員会の設置、研修を実施している。朝礼時に毎回、研修を実施している。	さらに理解を深められるようにしていきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束等の適正化のための対策検討委員会の設置、研修を実施している。	